

21.6 / 1 分

9822.75

36407

36407

死歿者調書

現住地

編部隊 第...特別根據地隊

入國年月日

志級 二七

氏名

生年月日

役種 補充兵 兵 水

全務係

...

死後遺囑年月日 昭和十八年三月三日 吳軍港出航 慶安町

死後遺囑年月日 昭和十八年三月三日 吳軍港出航 慶安町

勤務概要

昭和十八年三月三日 吳軍港出航 慶安町 敵

疾病(受傷)年月日

病名(受傷)部位

疾病(受傷)年月日 連島砲臺即死

戰時状況

1818

065

或預備期 36407.
179号

沼中告又

昭和二十一年十月一日

氏名	本籍地	現住所	所属部隊	階級	入籍番号
			第三師別隊機務隊	一等	

備考

- (一) 本調査は部隊長が現職者であることを以て、異地方援員局の本部に託し、通報せしめ、調査せしめ、その旨に付記載すること。
- (二) 又、現在在籍者の持病を以て、准士官以下士官に付記載すること。
- (三) 同府県は勿論、他府県出身者についても記載すること。
- (四) 知得し、その範囲で出来し限り詳細に記載すること。
- (五) 他、調査し、その旨に付記載すること。
- (六) 欠付は

異地方援員局人事部長 宛

本調査報告書は、昭和二十一年十月一日、異地方援員局の本部に託し、通報せしめ、調査せしめ、その旨に付記載すること。又、現在在籍者の持病を以て、准士官以下士官に付記載すること。同府県は勿論、他府県出身者についても記載すること。知得し、その範囲で出来し限り詳細に記載すること。他、調査し、その旨に付記載すること。欠付は

[illegible]

50845

漢本
佳制
所藏

中國醫學會

廣雅

住宅

（附錄）

中國書院

第廿二冊劉松藩地庫第廿六冊（同福第廿九冊）防堂防
明初十九年冬種穀一補水監 古命監

死亡證 水參皮
死亡證 四喜片膏

身兼重役

氏

坐臥月珠

魏 植 叔 氏 名

內附地圖四張每月

昭和十九年五月一日

晚集到着年月日

熙和十九年五月二十日

德政堂

大島清徳、小島圭之助、藤田三郎、笑風四郎、防安鏡生、筆城
其、他、鑑査、被、可、知、昭和十九年、月、日、病二休、少、月

攝政 乃由乃帝弟
アイコス地意

別名(愛書)部 傳不明

時ノ狀況
又二年東府臨上平軍區官衛望孝上其狀進上

昭和二年六月四日

方寸集卷三 王特刊松樹地病後

戰病死

死亡時之狀態

（一）

有 限 公 司

昭和二十二年十一月廿七日

本館

廣風運設

官報

氏名

◎註一 鄭衆名八國有為 據明臣吳應乾及李四下

一、議定長江口外之新開河與老開河六次分界點，其

五五-10

2311

卷百三 海軍五 作部 現地操年正 眞調書

學貢三子
或著或述
或著或述
或著或述

72-10

75
142,059

第三海軍工作部親地探用土員調查

元海軍軍属未復員者調査票

連絡番号	又派遣元船名	身分氏名	生年月日	本籍地
		軍属		県市町村
留守担当者	氏名	現住所		
長		県市町村		
家族の承知されている状況				
職名	司政官、船長、書記、技師、工員、船長、甲板員等の別を記入して下さい	内所発地出身年月日、母下り年月日、行先がわかっていない場合は		
用志の別、使用、現地採用	現地採用	家族被受領の状況と取扱っている経理部を併せて下さい		
採用又は徴用年月日	昭和5年頃	一、知隊長から何か通知がありましたか		
及部隊名	ダバオ市グアワニ飛行場設営隊	二、知隊長から何か通知がありましたか		
(船員は船名及船主)		三、其の他のところから何か通知がありましたか		
場外勤務の部隊名及		四、其の他のところから何か通知がありましたか		
本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい	差出日附()年()月()日 受領年月日()年()月()日 検閲者印() 内容	五、其の他の本人に就いて参考になることを併せて下さい		
歸還者からの情報 (自認の方には本欄に未復員者個人に對すること、自分の属していた部隊の情報を記入して下さい)				
未復員者個人に對する情報				
情報提供者	部隊	身分氏名	この欄には所屬部隊の行動、戦況状況(艦船事故ならその状況)を詳しく併せて下さい (特に場所、年月日を洩さない様にして下さい)	
同右現住所	一三	軍属		
本人にたから何処で何時に入られたか又は何時に本に入られたか状況を本欄に記入して下さい	昭和20年6月5日頃タモガンに移動中、タモガンに戦死。戦死の日まで一緒にいた。			
戦死者でしにその状況を本欄に記入して下さい	死	因	敵砲弾により戦死	
(死に病死なら病名を記入して下さい)	死亡年月日	死亡の場所	昭和20.6.5 タモガンダバオ市タモガン	
行方不明ならその状況を記入して下さい	原	因		
い	年	月	日	
他に本人の消滅をよめる方について所氏名を記入して下さい	場	所		
備考				

本人はダバオ市グアワニ耕地に住んで居たが、昭和20年6月5日頃タモガンに移動中、タモガンに戦死。戦死の日まで一緒にいた。戦況は日々悪化し、本人も部隊と共にタモガンに移動中タモガンに戦死。敵砲弾により昭和20年6月5日戦死。

現認者

21.7.15 公麦

卷之五

日記

神
意

田中 三郎

本年正月

漢口三海軍工作部現地探察工員調查書

松島入道

318

[illegible]

4210

死 受 者 調 書

本籍地

現住所

所屬部隊

入國月日

官等級

戦地到着年月日

勤務概要

戦死年月日

病名(受傷部位)

戦死場所

右 申 告 又

[Redacted]

同 石

二十六戦隊 隊

水 昭和十九年十月十九日 役種 兵種

昭和十九年十月十九日

二十六戦隊 隊

及敵陣に侵入し戦死した

戦死

[Redacted]

[Redacted]

ルソン島に於て敵と交戦し戦死す

昭和十九年六月大島湾海戦 ルソン島に於て

[illegible]

49212

本籍地

現任所

所属部隊

入國年月日

官等級

内地滞在

戦地到着年月日

勤務概要

送還年月日

送還場所

送還理由

死歿者
謝書

二二運輸部 第二吉寶丸

役種 怖 免

兵種 兵科

送港出港昭和十九年三月一日

七ノ着昭和十九年八月十一日夕方

第三吉寶丸難船中八見張員トモテ

戦場中八大隊ヲ三陸隊

戦場中八大隊ヲ三陸隊

戦場中八大隊ヲ三陸隊

戦場中八大隊ヲ三陸隊

右申 告ス

本籍地

現任所

所屬部隊

氏

三運翰部

海軍上等兵曹

入新橋

備卷

一本相看、部藤長と残、初取收、等、吳、代、方、復、具、角、今、事、部、某、
通、報、元、へ、千、青、在、者、不、了、知、得、り、不、ト、認、れ、毛、ノ、ミ、付、記、載、人、

(二) 吳鑑在籍時 爲言 漁官下土庫與三付 就重入

(三) 同府縣人勿論他府縣出身者亦就其元記載入

(四) 知得之無礙因於今出來得無礙則

田代可傳子承知以中外實一姓也

李

一月中所送過二公報奉付也而水江

55784

56734

昭和二十一年十一月一日

地方自治部第二十二復員課

生者戰死者確認報告

報告者ノ當時ノ所轄(部隊名)

報告者ノ官職氏名(冠報符)

報告者ノ本籍地及ビ現住所

所轄官職氏

名

電報符號

出身

身

地

生有又ハ

戦死區分

年月

場所

現狀

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

302 昭和二十一年十一月一日

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

本課より部へ入平らむ資料
昭和二十一年十一月一日

無任

人事局
人事課

426

現 實 顯 明 善

本
籍
地

現任所

麻氏為

麻手

一 臘 每 月 日 記 在 年 月 日

臨死、臨終、區別、死

死 所 七十 卷 三十五 卷 三十五 卷 三十五

死狀死

新現圖

昭和22年3月25日

現職客員氏有

三三三
騰本花

海軍

（三）新東莞銀行通匯及信用狀（附）

[illegible]

一、大綱書目部隊長又八條務取張香亭是也丁要外是司

發與日事一覽

光緒二十五年二月二十日

本籍地					
現居所					
所屬部隊	南軍海軍航空隊		姓名	南軍日野隊	
氏名			人海		

一、五柳先生傳：先生不知何許人也，宅邊有五柳樹，因以爲號。先生性嗜酒，家無幾何蓄，每飲必醉。或時無酒，則仰天嘆曰：「真無聊也。」

卷之五 通志卷之五 人事類

69875

535